

第46回東北シニアボウリング選手権大会

開催要項

主催 東北地区ボウリング連合

主管 秋田県ボウリング連盟

公認 公益財団法人 JAPAN BOWLING

後援 秋田県、公益財団法人秋田県スポーツ協会

開催月日 令和8年10月3日(土)～10月4日(日)

競技会場 ラウンドワンスタジアム秋田店(公認競技場No. 105-28)BW38L

〒010-0217 秋田県秋田市卸町1-1-2

TEL 018-896-6711

FAX 018-896-6714

競技種目 男女別 2人チーム戦・選手権者決定戦

競技方法 (1) 2人チーム戦

1人9ゲーム(チーム18ゲーム)の競技を行い、その合計得点により、順位を決定する。

(2) 選手権者決定戦

2人チーム戦の個人9ゲーム合計得点により、男子上位24名、女子上位12名を選出し、更に3ゲームの競技を行い、合計12ゲームの得点により、順位を決定する。

ハンディキャップ 年齢基準は令和8年4月1日現在

50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳
0	5	10	15	20	25	30	35

競技規定 公益財団法人 JAPAN BOWLING 制定の選手権競技会規程並びにボウリング競技規則を適用する。

同位の裁定 予選・決勝において同位が生じた場合、第133条に基づき裁定する。
ただし、選手権者決定戦後に1位と2位が同点の場合、9・10フレームの決定戦により順位を決定する。

参加資格 令和8年度JB登録の個人正会員・実業団会員で東北地区連合を構成する各県連盟所属の令和8年4月1日現在、満50歳以上の各県代表選手であること。

参加割当 原則として各県連盟8チーム(16名)とする。ただし、女子選手の参加を4名以上とし各県連盟において参加割当を充足できない場合は、主管において各県の参加状況を考慮し、増枠調整を行うことが出来るものとする。

施設使用料 1人 7,500円 選手権者決定戦 2,000円

褒章	(1) 2人チーム戦	男子 優勝～第6位 女子 優勝～第6位
	(2) 選手権者決定戦	男子 優勝～第6位 女子 優勝～第6位
	(3) 個人ハイゲーム	男女別(2人チーム戦を対象 ハンディキャップ込み)
	(4) 個人ハイシリーズ	男女別(2人チーム戦を対象 ハンディキャップ込み)
	(5) 選手権者決定戦出場賞	出場者全員
	(6) 高齢者特別賞	男子 75歳以上 女子70歳以上
	(7) 大会参加賞	本大会参加者全員

- 申 込 方 法 (1) 各連盟ごとに参加選手をとりまとめ、期日厳守の上、所定の申込用紙に必要事項を入力し、入力したデータはExcelデータのままだ下記メールアドレスへ送信すること。
(2) 申込後の変更は、赤字で変更日を明記して添付ファイルで送信すること。
(3) 参加費は下記送金先に期日までに振込むこと。

申 込 期 限 令和8年9月9日(水)

申 込 先 秋田県ボウリング連盟
〒010-0041 秋田県秋田市広面字釣瓶町100-41
TEL080-1815-2161 FAX 018-837-6555
メールアドレス:turkey0102@gmail.com

送 金 先 北都銀行 広面支店 普通預金 口座番号 6083202
口座名 秋田県ボウリング連盟 理事長 布目 浩嗣
送金締切日は令和8年9月11日(金)期日厳守のこと。

- 注 意 事 項 (1) 参加選手はJB会員証・ボール検査合格証を必ず携帯すること。
(2) ユニフォームは、各県連盟制定のものでJBに登録済のものとする。チーム戦ではチームメンバーが同一のユニフォームを着用のこと。
(3) 大会使用ボールの登録は、会場に持ち込んだ全てのボールを競技開始前に登録すること。登録には、5個目から1個につき500円の登録料を納めるものとする。
(4) 未検査ボール又は有効期限切れのボールを使用する場合は、競技前に大会認証部で検査を受けること。検査料はボール1個につき500円とする。
ただし、有効期限は大会開催期間中とする。
(5) 競技中に参加全競技者の中から無作為にボール検査を実施する。シフト終了後主管役員により指名された選手は速やかにボール検査に協力すること。登録していないボールを会場へ持ち込んだ場合、それまでの記録は全て無効とする。
(6) 大会に使用するボールの持ち込みは4個以内に自粛すること。
(7) 各県連盟監督は、連盟旗を持参し、監督会議に出席すること。
(8) 閉会式(表彰式)には、表彰該当選手全員が参加すること。
(9) 選手及び投球順に変更が生じた場合は速やかに大会事務局まで連絡すること。
なお、監督会議終了をもって変更の受付は終了します。
(10) 参加選手は各自で健康に留意するとともに、「スポーツ安全保険」等に参加し、健康保険証を持参すること。